

浸水養生工法

ハザマら4社が普及会

技術情報提供や施工指導

ハザマら4社は、コンクリートの浸水養生工法である「アクアカーテン」の普及に向けた取り組みを強化する。工法の普及促進を図るための組織を設立し、技術情報の提供や施工指導などの活動を開始した。ハザマはこれまで、アクアカーテンによるコンクリート養生を9件の自社工事に適用。乾燥収縮によるひび割れの抑制、中性化速度の低減などで優れた成果を得ているという。

アクアカーテンは、脱

型したコンクリートの表面を浸水養生シートで覆い、コンクリートとシート間に養生水を流して水膜を形成する。水中養生と同等の環境を整えることで、コンクリートの品質を向上させることが可能。鉛直面やトンネル覆工面を効率的に浸水養生する技術として、普及を目指している。

アクアカーテン普及会はハザマのほか、青山機工（東京都江東区、古川康孝社長）、岐阜工業（岐阜県本巣市、北川智

秋社長）、東宏（札幌市東区、部田修弘社長）の4社で活動を開始した。今後、技術情報の提供や施工指導などを行っていく。直接工費は適用場所や数量によって変動するが、材料費と工事費を合わせ1平方メートルあたり700～1300円。工法の実施許諾はハザマが担当する。

ハザマらは、コンクリート構造物の長寿命化に貢献する技術として、普及会の活動を通じ採用実績の拡大を図っていく方

針だ。技術や普及会の詳細はホームページ(<http://www.aqua-curtain.jp>)で紹介している。